

長野市事務処理の在り方検討委員会（青木島遊園地廃止関連）

第5回外部委員検討委員会【議事要旨】

日 時 令和6年10月10日（木） 午後3時30分～午後4時10分
場 所 長野市役所第一庁舎5階 庁議室
出席者 外部委員：石津廣司委員、栗田晶委員、青木弘委員
委 員：委員長 西澤雅樹副市長、副委員長 返町健総務部長
事 務 局：望月総務課長、中村課長補佐、池田係長、碓井主査

1 開 会

2 検討結果報告書の報告

外部委員から報告

3 委員長挨拶

4 意見交換

- ・報告を受けた委員長から事務処理の在り方について発言があった。
 - (1) 一連の手續が定められていないことが本件の問題を生じた大きな要因とのことであるため、手續を整備し、できる限り市民に公表することで情報共有の在り方について検討したい。
 - (2) 地域住民の合意形成をどのように図っていくのかを検討していきたい。
 - (3) 住民自治を尊重しながら、住民と行政の役割分担について議論を深めたい。
 - (4) 職員の仕事の進め方について、連携や情報共有ができるよう組織文化や職員の意識改革に取り組みたい。
 - (5) 個人情報の取扱いについて、庁内において共通認識を持ちたい。
 - (6) 子どもに関係のある施設については、子どもの意見を聞く視点を持ちたい。
- ・委員長の発言後、外部委員3人から発言した。
 - (1) 個人情報の取扱いについて、プライバシーを守ることができなかったことは問題であり、プライバシーを守るために、情報を正しく伝えることが大事である。
 - (2) 市民に影響のある施設に係る廃止の決裁権者は、検討が必要である。
 - (3) 上司等への報告は正しい情報を速やかに行うことが大事である。合わせて、地区への説明も大事である。
 - (4) 報告書に「今後に向けて」を整理したので鋭意取り組み、よりよい行政を実現してほしい。

5 閉 会